第２３回全国障害者スポーツ大会「ＳＡＧＡ２０２４」

オープン競技

ブラインドテニス

競技ルール

1. 試合方法

1 回戦～準決勝:4 ゲームマッチ ノーアドバンテージスコアリング

(5 ポイントショートタイブレーク)

<u>20 分制限ルールあり</u>

決勝: 4 ゲームマッチ アドバンテージスコアリング (5 ポイントショートタイブレーク)

<u>20 分制限ルールなし</u>

- ノーアドバンテージスコアリング

  ゲームポイントが 40-40 になった場合、ディサイディングポイントとなるので、レシーバーがレシーブサイドを選択し、次のポイントを取った方が 1 ゲームを獲得する。

- 3-3 になった場合、どちらかが先に 2 ゲーム先取した

方が勝ちとする。但し、4-4 になった場合 5 ポイントショートタイブレークを行う。

- 5 ポイントショートタイブレーク
  通常のタイブレーク方式で先に 5 ポイントを先取した方を勝ちとする。但し、4-4 になった場合、ディサイングポイントとなるので、レシーブ側がレシーブサイドを選択する事が出来る。エンドチェンジは最初の 4 ポイントをプレーした後に、1 回のみ行う。

2. 20 分時間制限ルール

今大会は 1 試合 20 分時間制限ルールを採用する。

20 分以内で試合が終わらない場合は以下のルールを採用する。

- ちょうど 20 分になった時に両方の選手が得たゲーム数の合計が偶数/奇数に関わらず、1 ゲーム以上の差があり、なおかつゲームポイントが 0-0 の場合は 1 ゲーム以上リードしている方を勝ちとする。(例: 2-0、2-1、3-0、3-1、3-2 でゲームポイント 0-0 など)
- 但し、ちょうど 20 分になった時点でゲーム数の合計が偶数でゲームポイントが 0-0 の場合(例:2-2、3-3

でゲームポイント 0-0 など)は 5 ポイントショートタイブレークを行う。

- 20 分になった時にゲーム数の合計が奇数で、すでに次のゲームが始まっている場合(例:3-2/ポイント 15-0 など)はゲームの合計が偶数になるまで続行する。但し、1-1、2-2、3-3 または 4-4 になった場合は 5 ポイントショートタイブレークを行う。
- 20 分になった時にゲーム数の合計が偶数で、すでに次のゲームが始まっている場合(例:2-2/ポイント 15-0 など)は次の偶数ゲームまで行う。その結果、3-3、4-4 になった場合は 5 ポイントショートタイブレークを行う。

3. 競技クラスと競技方法

- B1: 3 バウンド以内で返球
- B2: 3 バウンド以内で返球/ボレー返球は出来ない
- B3: 2 バウンド以内で返球/ボレー返球は出来る

今大会は B2 と B3 の混合クラスとなるので、違うクラスで対戦する場合(例:B2 vs B3)、B2 は 3 バウンド以内で返球し、B3 は 2 バウンド以内で返球するという変則ゲー

ムとなる。またこの様な変則試合において、試合中ボレーで返球をする事は出来ないとする。

4. メディカルタイムアウト　（ゲガ等の処置の時間）

今大会は特例として、1試合2回までケイレンでもメディカルタイムアウトを取る事が出来る。救護班は処置開始から5分以内でしなければならない。救護班の治療が5分以上のかかる場合、次のエンドチェンジの際に、1ゲームポイントを失う。但し、出血等の緊急性を伴う場合はこの限りではない。

5. コード　オブ　コンダクト

選手は審判員のスコア、ラインジャッジやラインコール等に対して、正誤のアピールをする事は認められるが、過度のアピールや暴言などはスポーツマンシップに反する行為として、ペナルティを科す。

- 1回目　警告
- 2回目　1ポイントを失う
- 3回目以降　その都度1ゲームを失う

参照：JTA ルールブック p154

17)プレーヤーは、試合コート上および会場内で、相手プレーヤー、アンパイア、観客に対し、スポーツマンシップの礼儀をおわきまえ、プレーヤーの品格、トーナメントの品格を損なうような言動を慎まなければならない。

6. フットフォールト

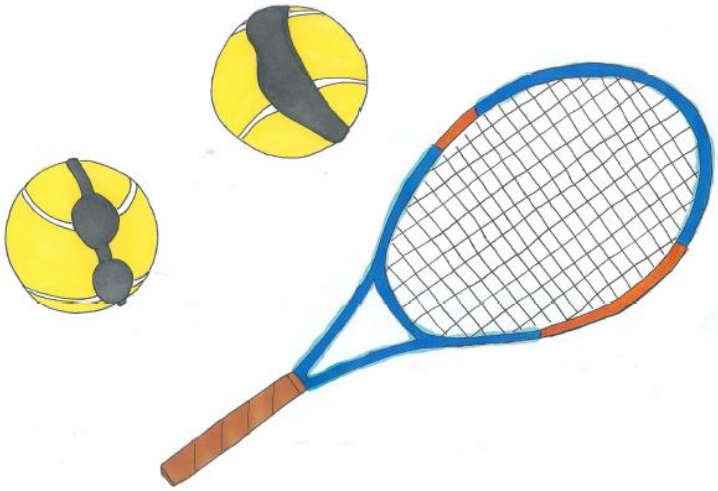
サーバーはサービスモーション(開始から終了まで)の間、

- どちらの足もベースライン、またはその内側のコートを踏まない。
- どちらの足もサイドラインの仮想延長線の外側の地面を触れない。
- どちらのセンターマークの仮想延長線を踏まない。
- 審判員はサーバーが上記の違反をしている場合、「フットフォールト」をコールする。

7. サービス

ブラインドテニスの特有のルールに従い、以下の規則を設ける。

(1)　サーバーはサービスをする前に、「いきます」とレシーバーに対して、声を掛け、レシーバーが「はい」と返答してから、5 秒以内でサービスを行う。声掛けや返答の確認をせずにサービスをした場合、違反となる。罰則は以下の通りになる。

- 2 回目まで　警告とサービスレットとリプレイザポイント
- 3 回目以上　サービスフォールト

(2)　サーバーやレシーバーが所定の位置を確認する為に、審判員やボールパーソンからの助言を受けても良い。